

令和 6 年度「国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座」開催要項

児童サービスに従事する全国の各種図書館員等、児童書及び児童文学に関する知識を必要としている方の、幅広い知識の修得を目的として、児童文学連続講座を開催します。

1 総合テーマ

「変わる！子どもの読書環境と児童文学」

2 形式

Microsoft Teams を用いて、講義をオンライン同時配信します。また、オンラインディスカッションを除く講義を録画した映像を後日配信します。

利用する PC、インターネット環境は、受講者が各自でご用意ください。また、Microsoft Teams の実行環境についても各自でご確認ください。サービス利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねます。ご了承ください。

3 開催日程

令和 6 年 10 月 28 日（月）、29 日（火）

※録画映像の配信日程や申込みについては、後日、当館ホームページでご案内いたします。

4 内容及び講師

別紙のとおり。なお、講座内容は都合により変更になることがあります。

開催前日までに、レジューメを当館ホームページに掲載します。

5 参加費

無料

6 定員

400 名程度。ただし、オンラインディスカッションのみ定員 50 名（いずれも先着順）。

7 申込受付期間

令和 6 年 8 月 20 日（火）～10 月 8 日（火）

ただし、定員に達し次第、受付を終了する予定です。

8 申込方法

1 講義単位での受講が可能です。以下のフォームからお申し込みください。

[申込みフォーム](#)

問い合わせ先

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課協力係

TEL：03-3827-2053（開館日の 9:30 から 17:00 まで）

電子メール：kenshu★kodomo.go.jp（★を半角の@にしてください）

総合テーマ「変わる！子どもの読書環境と児童文学」

近年、情報機器の発達・普及により、子どもたちは日常的にデジタル端末に触れています。そして、映像作品やゲーム、電子書籍など、紙以外の媒体で物語を楽しむ機会が急速に増えています。

一方で、そのような現状を、私たち大人はきちんと受けとめられているでしょうか。今年度は、こうした課題に着目し、「変わる！子どもの読書環境と児童文学」をテーマとして、子どもたちの現状と児童文学、読書の関係について考えたいと思います。

まず総論として、子どものデジタルメディア視聴の実態とその影響を概観します。各論では、児童文学の変化や、子どもの読書とゲームのつながりを見ていきます。さらに、ひろく親しまれている映像作品を取りあげて児童文学との関連を考えるほか、国際子ども図書館のサービスについてもご紹介いたします。また、昨年度に引き続き、参加者のみなさんにオンラインでグループディスカッションをしていただく科目も設けました。

この講座をとおして、現代の子どもたちがどのように物語を楽しんでいるのか、そしてそれを読書へつなぐことができるのか、みなさんと考えていきたいと思っています。

監修 藤本 恵（武蔵野大学教授、国立国会図書館客員調査員）

令和 6 年 10 月 28 日（月）

10:00～11:30

「デジタルメディア環境の変化と子どもの発達」

佐藤 賢輔（東京大学特任助教）

……現代の子どもを取り巻くデジタルメディア環境の実態と変化、デジタルメディア視聴が子どもの発達に及ぼす影響などについて、国内外の研究結果を紹介しながら概説します。それら知見を踏まえ、子どもとデジタルメディアのより良い関係を構築するために必要なことについて考えます。その中で、デジタルメディアと子どもの読書の関係性や展望にも触れます。

13:00～14:30

「変わる／変わらない子どもの本―人気シリーズ「ゾロリ」「ルルとララ」の再検討―」

藤本 恵（武蔵野大学教授、国立国会図書館客員調査員）

……映像作品やゲームが広まるにつれ、それらの要素を取りいれて子どもを引きつけ、長期にわたるシリーズとなる本も現れてきました。そのような本を楽しむことと古典的な児童文学を読むことは、違うのでしょうか。この講義では、映像作品やゲームが子どもたちに多くの物語を提供するなかで変わる／変わらない子どもの本の魅力とは何か、考えたいと思います。

15:00～16:30

「グループディスカッション―子どもの読書は変わるのか？」

藤本 恵（武蔵野大学教授、国立国会図書館客員調査員）※モデレーター

……ふだんから本や子どもと関わっているみなさんと、子どもの読書環境の今とこれからについて語りあってみませんか。オンラインだからこそ、遠く離れた地域の方とも気軽につながり、交流することができます。

※この科目では、少人数のグループに分かれてディスカッションを行います。ディスカッション中はマイクとカメラをオンにさせていただきますので、ご了承の上お申し込みください。

令和 6 年 10 月 29 日（火）

10:00～11:30

「子どもの読書とゲーム」

日向 良和（都留文科大学教授）

……「ゲーム」、特にデジタルゲームは子どもの読書と相反するものと捉えられがちです。しかし、2015 年頃より、各図書館で子どもの読書とゲームを組み合わせる読書への興味関心をかき立てる取り組みが進んでいます。こちらを紹介しながら、子どもの読書とゲームの「いい」関係について、みなさんと考えたいと思います。

13:00～14:30

「童話と映画のあいだ—『魔女の宅急便』—」

米村 みゆき（専修大学教授）

……宮崎駿によるアニメーション映画作品の多くは、児童文学等の原作を元にして製作されていますが、原作から大きく乖離していると言われてきました。しかし、角野栄子による童話『魔女の宅急便』から映画化への脚色過程をたどってゆくと、原作の童話の世界を掘り下げて読解することによって独創的なミヤザキ・ワールドが展開されていることがわかります。

15:00～15:30

「国際子ども図書館の読書・学習支援コンテンツ紹介」

国際子ども図書館職員

……国際子ども図書館は、令和 6 年 3 月、子どもの読書と学習に役立つオンラインコンテンツ、「しらべる・まなぶ・よむ」（小学生向け）、「調べる・学ぶ・読む」（中学生・高校生向け）を公開しました。これらのコンテンツの概要と使い方についてご紹介します。

別紙

講師略歴（五十音順）

佐藤 賢輔（さとう けんすけ）

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。共愛学園前橋国際大学国際社会学部特任研究員などを経て、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター特任助教。主な研究分野は発達心理学。子どもの絵本・本・デジタルメディア環境、言語や社会性の発達について研究。

論文「デジタル環境の変化と子どもの読書」（『発達』45(177), 2024）等

発表「紙とデジタル／イラストとアニメー読書における幼児の思考と行動のメディア間比較」（日本発達心理学会第34回大会, 2023）等

日向 良和（ひなた よしかず）

元都留文科大学附属図書館司書。山梨英和大学人間文化学部非常勤講師、都留文科大学共通教育センター教授等を経て、2024 年 4 月から都留文科大学学長補佐。専門は図書館情報学。ゲームと図書館など、図書館の社会的意義について多角的に研究。

著書『図書館とゲーム イベントから収集へ』（日本図書館協会, 共著, 2018）等

論文「図書館情報資源としての「ゲーム」」（『情報の科学と技術』71(8), 2021）

藤本 恵（ふじもと めぐみ）

お茶の水女子大学文教育学部国文科卒業、同大学大学院人文科学研究科日本文学専攻修士課程修了、同大学院人間文化研究科比較文化学専攻（博士課程）単位取得退学。都留文科大学を経て、2019 年 4 月から武蔵野大学文学部日本文学文化学科教授。専門は日本児童文学、童謡など。2022 年 4 月から国立国会図書館客員調査員。

著書『掘りだしものカタログ 3 子どもの部屋×小説』（明治書院, 2009）等

論文「大衆の“文化”としての童謡－金子みすゞと与田準一の詩作から 100 年」（『児童文学研究』56, 2024）等

米村 みゆき（よねむら みゆき）

名古屋大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。博士（文学）。日本学術振興会特別研究員（PD）、甲南女子大学を経て、2014 年から専修大学文学部日本文学文化学科教授。研究領域は、宮沢賢治、村上春樹などの日本近現代文学および、高畑勲、宮崎駿をはじめとしたアニメーション作品。

著書『映像作家宮崎駿：〈視覚的文学〉としてのアニメーション映画』（早稲田大学出版部, 2023）、

『アニメーション文化 55 のキーワード』（ミネルヴァ書房, 共著, 2019）等

論文「〈翻案〉する宮崎駿 『魔女の宅急便』の脚色を原作・英語吹替に探る」（『専修国文』108, 2021）

「高畑勲が「なめとこ山の熊」を映像化していたら アニミズムの新しい視点から」（『アニメーション研究』21(1), 2020）等